

なるものと思います。

次に、木質チップによる発電を行う「(株)吾妻バイオパワー」を視察しました。当町に進出した企業において、バイオマス発電の計画がある事から実施をしたものです。

町の新エネルギー施策の推進はもちろん、これまで利用価値が低いとされ、山に放置されてきた間伐材などの木質チップ燃料への有効利用が期待できます。

いずれも森林資源を多く有する当町にとって、参考となる有意義な調査となりました。



温もりを感じる木造庁舎(宮代町)

■産業建設常任委員会

委員長 阿久津武之

彩り(葉っぱ)事業と

四万十川を調査

(11月24・25日)

徳島県上勝町は、人口約2000人で、65歳以上の高齢者が49・5パーセントと高齢化と過疎化が進んでいる町です。

この町の葉っぱビジネスは、高齢者や女性でもできることは、何かないかというところで、昭和56年に農協などが主体となって始まりました。

今では懐石料理やお弁当などに添えられている、「南天」や「もみじ」などの葉っぱが、農協を通じ全国の市場に販売され、中にはその販売額が年間1000万円を超えるという方もいるとのこと。

当町においても少子高齢化が進んでいます。高齢者の皆さんが楽しみながら働ける事業にも、取り組んでいく必要があると思います。

次に、高知県の四万十川の調査では、那珂川との違

いについて調査して来ました。町内を流れる那珂川も、清流と言われていますが、四万十川はそれ以上に、川エビや青のりが採取されるほどきれいで、水量も豊富な川でした。

また、四万十川には沈下橋が21箇所も架けられていて、8トン車まで通行が可能ということ。

3月11日の東日本大震災で被災し、通行不能となった新那珂橋の再建についても、費用の面からして沈下橋も検討に値するものと考えます。



上勝町で「葉っぱ」事業の調査

広報モニターさんのご意見・感想が、
このように活かされています。

No.1

項目	広報モニターさんからのご意見・感想	改善したところ
表紙について	<ul style="list-style-type: none"> ・那珂川町の自然が写されていて良い。 ・季節にあった写真で良い。 ・町の風景なので、これからも続けて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙の写真は、町民の皆さんに応募していただいた作品の中から、那珂川町の自然や風景、季節感のある写真を採用しています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・目次の表示は、具体的内容で表示した方が後で探しやすい。 ・「なかがわ」というタイトルは、町広報と同じなので「議会だより」の文字を大きくした方が良いのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙に主な内容を表示することにより、表紙を見て内容が把握できるように工夫しています。 ・合併後第1号から第10号までは、表紙のタイトルを「議会だより」として編集していましたが、イメージを変えるということで、現在は議会だよりを小さい文字で表し、タイトルは「なかがわ」としています。
文字・見出し・写真の配置について	<ul style="list-style-type: none"> ・見出しはもう少し大きい文字で。 ・文字が小さくて高齢者には見にくい。 ・写真を多く使用することで目を引くので良いと思う。 ・文字が小さい。内容を精査し記事数を減らし文字を大きくした方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字が小さく高齢者に見にくいとのことなので、見出しなどは出来るだけ大きな文字を使用するようにしています。 ・今月号の主な記事の内容がわかるよう、インパクトのある見出しをつけることや見出しの文字を大きくすることなどタイトルにも重点を置いています。 ・条例の改正や予算などの見出しについては、わかりやすくするため、毎回同じ形式をとっています。 ・出来るだけたくさんの写真を掲載するようにして、写真を見ることである程度、記事の内容や状況がわかるようにしています。 ・ページの都合によって、内容が詳細に掲載できない場合があるので、表やグラフを利用し理解しやすいようにしています。